

令和5年度事業活動の概要報告

当財団の令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、令和6年6月6日に開催された理事会及び令和6年6月27日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されました。

当財団をご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1) 学術交流促進・学術成果公開等助成事業（学術交流の促進、学術成果の公開、学術研究助成等に係る助成事業）、(2) 教育の充実に係る助成事業、(3) 学術基盤整備助成事業、(4) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せてご報告させていただきます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行し、神戸大学におけるキャンパスライフもほぼ平常に戻りました。助成事業についても国際交流に係る一部の事業で実施時期の延期といった影響がありましたが、ほぼ、予定どおりの活動ができました。

当財団の助成事業の一例としては、当財団の創立50周年記念事業として平成20年度に創設した「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」は令和5年度までの16年間で423名が表彰されました。同じく平成20年度から実施している「学部相互履修科目開講支援」は単位修得者数（令和5年度現在）が約6千名に上り、毎年好評の中、実施していることをご報告いたします。その他の助成事業の概要につきましては、事業報告の概要をご覧ください。

さらなる研究、教育の充実に図るため、今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

以 上

事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1. 学術交流促進、学術成果公開、学術研究助成に対する助成事業・・・20,021千円

1-1 教員海外派遣支援費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7,521千円

○経済学研究科 ----- (1,800千円)

・Agata WIERZBOWSKA准教授（令和5年10月～令和6年1月、ポーランド）

目的：新型コロナウイルス感染症後の銀行システムについて

・胡 云芳教授（令和5年4月～令和5年8月、中国、オーストラリア）

目的：人的資本の国際間移動、産業構造変化と経済発展

○法学研究科 ----- (2,071千円)

・増島 建教授（令和5年8月～令和5年9月、ベルギー、フランス他）

目的：人道・開発・平和の連結

・角松生史教授（令和5年8月～令和5年9月、ドイツ）

目的：ドイツ建築法制における空き家・空き地等対策

- 国際協力研究科 ----- (2,150千円)
 - ・井上 武准教授 (令和5年6月～令和6年9月 タイ王国)
 - 目的：デジタル時代の新しい金融包摂：東南アジア新興国における現状と教訓
- 経済経営研究所 ----- (1,500千円)
 - ・趙 来勲教授 (令和5年8月～令和5年9月、中国)
 - 目的：貿易摩擦、外交リスクと経済成長

1-2 学会・シンポジウム等開催支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,050千円

- 経済学研究科 ----- (2,450千円)
 - ・第8回貿易及びマクロ動学国際カンファレンス
 - 期 間 令和5年11月
 - 場 所 神戸大学 (オンライン)
 - ・第8回応用経済学国際カンファレンス
 - 期 間 令和5年7月
 - 場 所 神戸大学 (オンライン)
 - ・漢陽大学校 経済金融大学・経済研究所、神戸大学経済経営研究所・大学院経済学研究科、南洋理工大学 経済学部第9回共同研究発表会
 - 期 間 令和5年11月
 - 場 所 南洋理工大学 (シンガポール)
- 経営学研究科 ----- (300千円)
 - ・若手ファカルティディベロップメント研究会
 - 期 間 令和6年3月
 - 場 所 松山大学樋又キャンパス
- 経済経営研究所 ----- (1,300千円)
 - ・漢陽大学校 経済金融大学・経済研究所、神戸大学 経済経営研究所・大学院経済学研究科、南洋理工大学 経済学部 第9回共同研究発表会
 - 期 間 令和5年11月
 - 場 所 南洋理工大学 (シンガポール)
 - ・The 14th International Conference of THE JAPANESE ACCOUNTING REVIEW
 - 期 間 令和5年12月
 - 場 所 神戸大学六甲台キャンパス・アカデミア館
 - ・US-China Trade War and Repercussions
 - 期 間 令和6年1月
 - 場 所 神戸大学経済経営研究所

1-3 学術成果の公開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,550千円

- (1) 学術研究成果刊行支援費 2,550千円

- 経済学研究科 ----- (1,200千円)
 - ・衣笠 智子 著 「少子高齢化と農業および経済発展—世代重複モデルを用いた理論的計量的研究」
(勁草書房)
- 国際協力研究科 ----- (850千円)
 - ・中原 雅人 著 『自衛隊と財界人の戦後史—支援ネットワークの形成とその意味』
(ミネルヴァ書房)
- 経済経営研究所 ----- (500千円)
 - ・家森 信善 著 「地域金融機関による企業支援の新しい展開—金融機関による人材マッチングの可能性を探る—」 (神戸大学出版会)

1-4 研究プロジェクト支援費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,400千円

- 法学研究科
 - ・飯田 文雄 教授
研究課題 「難民」多様化時代における多文化共生政策の変容に関する国際比較研究
- 経営学研究科
 - ・三古 展弘 教授
研究課題 コロナ禍の非日常データを活用した交通現象の本質理解と持続可能社会実現への政策提言
- 経済経営研究所
 - ・北野 重人 教授
研究課題 世界的な高インフレ下における新興国のリスクとマクロ政策に関する理論・実証分析
 - ・西谷 公孝 教授
研究課題 SDGs を促進するための新たなサステナビリティ会計開発に向けた国際的総合研究
- 社会システムイノベーションセンター
 - ・鈴木 一水 教授 (センター長)
研究課題 企業の税制適応行動とその経済的帰結に関する研究

1-5 社会システムイノベーションセンター (社会科学系研究分野) に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,000千円

- ・鈴木 一水 教授 (センター長)
社会システムイノベーションセンター部門活動経費

1-6 襄山研究奨学基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 500千円

- ・國部 克彦 教授

課題 仕事経験の「幅」が従業員のキャリア・アダプタビリティ
に及ぼす影響

2. 教育の充実に係る助成事業 11, 970千円

- 2-1 学部学生教育支援費 6, 095千円
- (1) 成績優秀者に対する奨学金 1,265千円
・社会科学特別奨励賞（凌霜賞）（9名）
・六甲台賞（3名）
- (2) 教育プログラム経費 1,294千円
○経済学部 ----- (700千円)
・IFEK（5年一貫経済学国際教育プログラム）
・世界水準での経済学の学びを可能にするための英語論述力の強化
○経営学部 ----- (200千円)
・KIMERAプログラム
○法学部 ----- (394千円)
・KUPES欧州派遣研究調査プロジェクト
- (3) 海外派遣支援費 400千円
・神戸グローバルチャレンジプログラム
- (4) 学部相互履修科目開講支援費 1,136千円
期 間 令和5年度前期・後期
対 象 法学部、経済学部、経営学部（3学部2年生後期以降対象）
- (5) 学部共通講義開講支援経費（寄附講義） 300千円
・凌霜会 六甲台後援会寄附講義「社会科学の実践」
期 間 令和5年度後期
対 象 法学部、経済学部、経営学部（3学部の1, 2年生対象）
- (6) キャリア形成教育経費 1,700千円
- 2-2 大学院学生教育支援費 3, 875千円
- 経営学研究科 ----- (775千円)
・海外派遣支援
・MBA加護野忠男論文賞
- 法学研究科 ----- (2,621千円)
・教育プログラム経費
卓越した大学院拠点形成による若手研究者養成
法科大学院共通到達度試験支援
・海外派遣支援
・エクスターンシップ実施経費
- 国際協力研究科 ----- (479千円)
・海外派遣支援

- 2-3 特定基金による学生教育支援費 2, 000千円
(1) 田崎奨学基金による奨学金 300千円
(2) 久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援 1, 700千円

3. 学術基盤整備に係る助成事業 3, 400千円

- (1) 学術基盤整備支援 3, 400千円
○経営学研究科----- (2, 200千円)
・NPM関連データサービス
・企業情報データベース イーオーエル(eol)
○経済経営研究所----- (1, 200千円)
・加島屋廣岡家文書のデータアーカイブ
・鐘紡資料

4. 学術交流施設維持管理事業 253千円

- (1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理 253千円

5. その他財団が必要と認める事項 3, 000千円

- (1) 神戸大学創立120周年記念基盤事業支援 3, 000千円

6. 事業費付帯経費 13, 117千円